

発議第9号

安倍元首相の国葬中止を求める決議

上記の議案を、別紙のとおり日南町議会会議規則第14条第1項及び第2項の規定により提出する。

令和4年9月8日

提出者	日南町議会議員	古都	勝人
賛成者	日南町議会議員	大西	保
	同	岩崎	昭男
	同	櫃田	洋一
	同	久代	安敏
	同	近藤	仁志
	同	荒木	博
	同	岡本	健三
	同	坪倉	勝幸
	同	山本	芳昭

安倍元首相の国葬中止を求める決議（案）

岸田首相は安倍元首相の葬儀を国葬とし、令和4年9月27日に日本武道館で行うことを閣議決定した。

国葬とする理由として、

1. 総理大臣を憲政史上最長の8年8か月務めたこと
2. 経済・外交など歴史に残る業績を残したこと
3. 諸外国から敬意と弔意が示されていること
4. 選挙活動中の非業の死であり暴力には屈しない国として毅然とした姿勢を示すことを理由に挙げているが、戦前の国葬令は1947年に失効している。

また、戦後の首相経験者の葬儀をみると国葬は吉田茂氏のみ、国葬に取って代わった国民葬は佐藤榮作氏のみであり、大平正芳氏、岸信介氏、三木武夫氏、福田赳夫氏、小渕恵三氏、鈴木善幸氏、橋本龍太郎氏、宮澤喜一氏、中曽根康弘氏は政府と自民党の合同葬となっている。

国葬について現在、明確な法的根拠がなく国民の賛否も二分されており、歴代首相の葬儀の実情を鑑みれば、国葬を中止すべきである。

よって、日南町議会は安倍元首相の国葬中止を求め、ここに決議する。

令和4年9月8日

鳥取県日野郡日南町議会